

# 大豆収穫特報

平成28年10月3日  
あおば農業協同組合  
各地区農業技術者協議会

大豆の落葉が始まり、収穫期が近づいています。収穫が遅れると莢がはじけて、収量のロスが出ると共に、「しわ粒」「腐敗粒」により品質が低下します。速やかに刈取りが出来るよう準備を進め、適期刈取りに努めましょう。

## 1. 収穫開始の目安

◆落葉期（ほ場全体の約半分の株が完全に落葉した時期）から約6日後が収穫開始時期となります。今年には特にほ場ごとの成熟の進み方に差があるので、表1を参考に褐色莢の程度を確認し、刈遅れないよう計画的に作業を行いましょう。

◆茎の色みが若干残っていても莢色を優先して収穫してください。

【莢色の進み方】



【表1 褐色莢の割合と収穫開始日までの目安】

褐色莢 (%)	収穫開始日までの日数
50	8日程度
70	5日程度
90	2日
95	0日

【収穫開始の目安（エンレイ）】

5月下旬播種：10月 6日頃～  
6月上旬播種：10月 8日頃～  
" 中旬播種：10月 11日頃～

【収穫開始時期の株の状態】



収穫適期幅は7日程度しかない  
ので、刈遅れない  
ように注意！

## 2. 収穫準備

◆汚損粒の発生を防止するため、早めに青立ち株や大型雑草の抜取りを行い、刈取りの準備を進めてください。

## 3. 収穫作業

- ◆収穫時刻は、10:00～16:00を目安とし、莢が乾いていることを確認してから行いましょう。
- ◆刈取り高さは地際から10cm程度とし、土が入らないようにしてください。
- ◆作業速度は、0.5m/秒（1.8km/時）程度で行い、収穫ロスを減らしましょう。また、大豆が倒伏している場合は向い刈りとしましょう。

## 4. 乾燥作業

◆急激な乾燥は、しわ粒や皮切れ粒等の発生要因となります。機械乾燥する場合は、送風温度を「気温+5℃以内」とし、子実水分14%程度に仕上げましょう。



J A 乾燥施設は10月6日から稼働します。